

『思いやりをもった救急隊員を目指して』

枚方消防署 警備課中振出張所 救急担当 消防士長 おくの 奥野 しょうた 翔太(31)

《業務内容》

みなさんがお住まいの街中でも救急車が走行している様子をよく見かけると思います。私はその救急車に乗り、救急活動を行うことを仕事にしています。救急担当は、119番通報を受けて、救急車を必要とする傷病者の元へ向かい、傷病者の観察や処置を実施し、適切な医療機関へ搬送することが主な業務です。また、救急出動していない時間には、様々な救急現場を想定した訓練を実施し、実際の救急現場に備えています。そのほか、救急に関する普及啓発活動の一環として、地域防災向上センターの職員と分担して、市民の方々に対して心肺蘇生法などの救命講習を行っています。

また、本消防組合では平成29年4月からドクターカーの運用も開始しており、救急担当と医師が同じ救急車に乗って出動し、傷病者に対して早期の医療介入を行い、救命率の向上を目指す取り組みを行っています。



《仕事に対するやりがい》

消防には「国民の生命、身体及び財産を保護する」という使命がありますが、救急担当では、その生命及び身体に直接関わることになります。多くの救急現場に出動して傷病者と接し、それだけ傷病者の観察や処置に責任を伴いますが、日頃からの勉強や訓練で培った知識や技術を発揮する場も多くあります。また、本消防組合は毎年約7名、救急救命士養成課程への派遣を行っており、救急隊員として一定の経験・条件を満たし、内部選考に合格すれば、派遣を経て救急救命士の資格を取得することができるので、より専門的な処置ができる救急救命士になるという目標を持ちながら働くこともできます。



救急件数の増加に伴い、体力的につらいことや傷病者の救命に至らずに無力感を感じることも少なくありませんが、救急車を必要とされている傷病者やその家族の方の不安な気持ちに寄り添い、思いやりを持って活動することで感謝されることも多いです。市民の方々の命を救いたいという強い意志と傷病者に寄り添い、思いやりを持った活動ができる優しさを兼ね備えた救急隊員をあなたも目指してみませんか？